University of Miyazaki
Faculty of Engineering

体重が見えるメガネ“スカブター”

機械知能プログラム 教授
川末　紀功仁

出身:長崎県長崎市
趣味:猫と遊ぶこと。釣り。
講義:知能センシング、計測工学など

ひとこと
AIとIoT、最近よく聞くけど実際はどうなの？　CMで見るけど空想じゃないの？宮崎大学で世界に誇る超スマートな未来社会をつくります！

研究内容

体重が見えるメガネ　“スカ豚～(スカブター)”

3Dカメラを備えたARメガネで見るだけで体重がわかる装置

3Dカメラで撮影された豚の画像はPCに送られて解析されます。AIで推定された体重はAR眼鏡に表示されます。マンガ「ドラゴンボール」のスカウターに似ていることから、スカブターと呼ばれています。

赤ちゃんへの応用(医工連携)

小さく産まれた赤ちゃんは非常にデリケート。保育器の外からスカブターを用いて保育器内で眠る赤ちゃんの身体を測定します。小さな命を守ります。

骨格検出

部位の認識

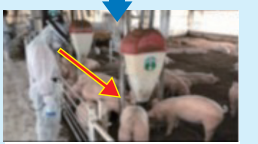
この研究はどう役立つ？研究から学べることは？

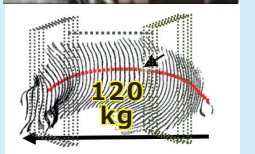
- 世界中で研究が進められているAI関連技術、他では真似ができない宮崎ならではのAI技術を開発！
- 畜産王国宮崎でしかできない研究を推進します。100kgを超える豚の体重を測るには、大変な労力が必要です。3DカメラとAIによって、簡単に体重がわかる装置が実現できます。
- 赤ちゃんの命を守ります。小さく産まれた赤ちゃんは、保育器の中で育てられるので身体測定も容易ではありません。保育器の外から撮影するだけで測定を行う技術を開発しています。
- AIを実現する構成が学べ、様々な分野に応用展開する知識が身につきます。

従来の体重計(豚衡機)による測定

従来の手作業による測定
(保育器の中の赤ちゃんでは難しい)

新技術





新技術

3DカメラとARグラスによる測定

最先端AI技術により、測定を自動化！